

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	個別番号	性	年齢	一回用量	服用薬	副作用	経過	経過の概要	前向き事例	備考
57	B-08026806	女性	10歳	20 mg	リン酸ジメモルファン カルボシステイン アセトアミノフェン	幻覚	回復	38.8度の発熱、頭痛、咽頭痛、咳、めまいがあり、受診。インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。 服用2日目、本剤吸入から20～30分後、体が熱く、ふとんが重く感じ「ふとんが燃えている」との訴えあり。(その後服用3日目までの計3回の吸入直後に、同様の発言した。)自分のふとんだけが熱く燃えている、重いと言って、他の兄弟のふとんをはぎとり自分にかけて寝たとのこと。 服用4日目、解熱。		08/04/01以降 新規報告
58	B-08027291	男性	10歳	20 mg		幻聴	回復	体温38.3℃。キットにてインフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。昼、本剤吸入。夕食前より、恐いなど言い出した。本剤2回目吸入。夜間、就寝時、幻聴が聞こえ恐いと言うなど精神症状あり。幻聴が強くなった。 服用2日目、朝、異常なし。幻聴はなく、インフルエンザの症状も軽くなったとのこと。		08/04/01以降 新規報告
59	B-08027376	男性	10歳	20 mg	クラリスロマイシン テオフィリン アセトアミノフェン	異常行動	回復	発熱のため受診し、ザナミビル水和物、クラリスロマイシン、テオフィリン、アセトアミノフェン処方。同日、服用開始。 服用2日目、朝、夕、本剤吸入。夜間、寝ていたが、急に手でバタバタと床をたたき出し、呼びかけても目線はあわず、フラフラと歩く行動が発現。救急要請。事象発現約8分後、救急車到着時には、意識清明。病院へ搬送後、インフルエンザA型と診断され、経過観察目的で入院。 服用3日目、朝、本剤吸入。昼過ぎ、意識清明であり、退院。		08/04/01以降 新規報告
60	B-08027957	男性	10歳	20 mg	非ピリン系感冒剤(4) ツロプテロール アズレンスルホン酸ナトリウム	幻覚 異常行動	軽快 軽快	咽頭痛、鼻水、咳あり、受診。体温36.9度。その後、熱発、頭痛あり再受診。体温38.4度。インフルエンザA型陽性と診断され、ザナミビル水和物処方。同日朝、本剤初回吸入後、就寝。同日昼過ぎ、突然起き出し、幻覚(何かが見える、おびえる)といった症状が発現。数分で軽快。同日夕方、本剤吸入2回目、体温36℃台。本剤吸入約5時間半後、深夜、突然起き上がり、目の焦点が合わないといった症状が発現。5分程度で軽快。 服用2日目、本剤中止。		08/04/01以降 新規報告
61	B-08027958	男性	10歳	20 mg	塩酸シプロヘプタジン カルボシステイン ヒベンズ酸チベピジン	浮動性めまい 血圧低下 ジスキネジー 意識変容状態 蒼白 チアノーゼ	回復 未回復	インフルエンザA型の診断にて、ザナミビル水和物処方。 同日、本剤吸入時にめまい、ふらつき、体をピクピクさせる動きが発現。もうろうとした状態、顔面蒼白、口唇チアノーゼ認めるも、その後回復。約2時間後、再度ふらつき、めまいが発現し、救急搬送され、緊急入院。頭CTでは明らかな異常なし。 3日間入院し、改善みられ退院。		08/04/01以降 新規報告
62	B-08029314	男性	10歳	20 mg	アセトアミノフェン	譫妄 振戦	不明 不明	ザナミビル水和物服用2日目、朝、本剤吸入後、体温39℃で、うわごと、ふるえが発現。		08/04/01以降 新規報告
63	B-08031642	女性	10歳	20 mg	鎮咳配合剤(1) 塩酸アンブロキシール	異常行動	回復	ザナミビル水和物服用1日目、夜、本剤吸入約2時間後、「熱い」「足がかゆい」と言って起きてくる。30分おきに約5時間症状が継続。 服用2日目、朝、本剤吸入したが、昼間は日常と変わらず。夕、本剤吸入。体温37℃。夜、昨夜と同様の行動を3、4回繰り返す。 服用3日目、朝、医師の指示により、本剤中止。夜、異常なし。		08/04/01以降 新規報告

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)
 (販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	個別番号	性別	年齢	一日用量	併用薬	副作用	経過	経過の概要	前回のNo.	備考
64	B-06026798	男性	11歳	20 mg	セフジニル 葛根湯 セラペプターゼ ヒベンズ酸チベジシ	異常行動	回復	ザナミビル水和物投与開始。使用6時間半後、異常言動発現し、5分程度で回復。	異常以外-22	
65	B-07023490	女性	11歳	20 mg		譫妄	回復	詳細不明	異常以外-23	08/04/01以降追加報告
66	B-08026176	男性	11歳	投与量不明		幻覚 異常行動	回復 回復	服用1日目、2日目に、家に帰る等の幻覚を思わせるような言葉を発した。布団を叩くような仕草もあり。		08/04/01以降新規報告
67	B-08027683	男性	11歳	投与量不明	アセトアミノフェン	悪夢 睡眠時麻痺	不明 不明	37~38℃の発熱、足が痛い、クラクラするという症状があり受診。A型インフルエンザと診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。夕食後、本剤1回目吸入。ボールを投げつけられるという悪夢と金縛りのような感じがあり起きてきた。 服用2日目、熱は下がった。昼寝をさせたところ今度は高い所から落ちるといふ悪夢を見たとのこと。医師に相談し、本剤中止。		08/04/01以降新規報告
68	B-08027962	男性	11歳	20 mg	アセトアミノフェン セフトレニシボキシシ 塩酸アンブロキシール 塩酸フェキソフェナジン フェンシノ酸クロベラスチン	異常行動	軽快	耳鼻科でセフトレニシボキシシ、塩酸アンブロキシール、塩酸フェキソフェナジン、フェンシノ酸クロベラスチンが処方されていたが、インフルエンザ様症状が発現し、受診。ザナミビル水和物等処方。本剤服用開始。服用3日目、大声を出したり、笑い出す、布団を跳ね除けるといった行動をとり、急患センターを受診。本剤終了。 服用開始から4日目、朝、症状は軽快。		08/04/01以降新規報告
69	B-08028348	女性	11歳	20 mg	アセトアミノフェン	幻覚	回復	体温39℃。キットにてインフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。 服用1日目、未明、突然起き出し、ふすまの方を見て笑い出し、「お姉ちゃんたちがいる」と発言。その時の熱は高かった。母親が声をかけてそのまま寝た。		08/04/01以降新規報告
70	B-08029575	男性	11歳	10 mg		意識変容状態	軽快	発熱あり。インフルエンザB型と診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。 服用3日目、解熱、傾眠がちでうわごとあり。 服用4日目、受け答え悪く様子おかしい。夜間、受診し、本剤中止。 本剤中止から3日目、様子変わらないため、再診。インフルエンザ脳炎の疑いにて入院。場所、月日が分からず、インフルエンザ罹患後の記憶がないようだった。傾眠あり。 本剤中止から4日目、活動性改善し、外来管理。自宅にて家人と話すうちに現実感を取り戻しつつあった。		08/04/01以降新規報告
71	B-08031474	男性	11歳	20 mg		意識変容状態	回復	ザナミビル水和物服用1日目、夜、母親に暴言をはいた。その後、就寝。		08/04/01以降新規報告
72	B-08031644	不明	11歳	10 mg		譫妄	不明	ザナミビル水和物吸入後、うわごとを言ったので、本剤中止。		08/04/01以降新規報告
73	B-08031783	女性	11歳	20 mg	鎮咳配合剤(1)	幻覚	回復	体温38.1℃、インフルエンザにて、ザナミビル水和物服用。 服用2日目、3日目、風船が飛んでいると保護者に報告した。 服用4日目、幻覚症状消失。		08/04/01以降新規報告

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	例別号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	経過	症状の概要	前回報告No.	備考
74	B-06026546	女性	12歳	10 mg	アセトアミノフェン セラペブターゼ リン酸ジメモルファン 塩酸アンブロキシソール	異常行動	回復	インフルエンザA型でザナミビル水和物を吸入。本剤吸入し約2時間半後、眼が上転気味になり、臥位から坐位へ移行し、立ち上がろうとする動作を繰り返し、手を首の所へ持っていく、指でかきむしるような動作も起こす。その後、体を少し硬直させて意味不明な言葉を発した。	異常以外-25	
75	B-07023807	女性	12歳	20 mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	服薬1日目、A型インフルエンザと診断され、ザナミビル水和物処方。本剤吸入して休む。夜半に急に大声で叫び、暴れる。手は強直状態。両親で抑えつける。約3分間。本人は全く記憶なし。 服薬2日目、朝、夕 本剤吸入。異常なし。	異常以外-26	
76	B-07024518	女性	12歳	20 mg	リン酸ジメモルファン セラペブターゼ クラリスロマイシン イブプロフェン カルボシステイン d-マレイン酸クロルフェニラミン ピフィズス菌製剤	幻聴 視覚障害	軽快 軽快	ザナミビル水和物服用1日前、体温39.6℃。熱っぽさ、筋肉痛自覚し、受診。リン酸ジメモルファン、カルボシステイン、セラペブターゼ、d-マレイン酸クロルフェニラミン、クラリスロマイシン、イブプロフェン処方され、服用。夕方より、ピントが合わない、焦点が合わないといった視覚症状が発現。 翌朝、臨床症状より、インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。本剤1回目吸入約2時間後、頭の中に人の声が聞こえ、人が騒ぐ感じが発現。夕、本剤2回目吸入。		08/04/01以降追加報告
77	B-08026497	女性	12歳	20 mg	アセトアミノフェン	幻覚	回復	インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。午前中、本剤初回吸入した。夜、本剤2回目吸入1時間後、棒のような物が自分の方に向かって飛んでくる、枕元にころがっている、何本もと訴える。症状発現から約30分後、うとうとする。明け方、母親に向かって、お母さんが死んじゃった、と号泣。数分でしずまる。症状発現から約30分後、うとうとする。 以後、発熱もなく、異常症状もなく、順調に経過し治癒。		08/04/01以降新規報告
78	B-08026805	男性	12歳	10 mg	カルボシステイン 塩酸アンブロキシソール 塩酸プロカテロール	落ち着きのなさ 異常行動	回復 回復	ザナミビル水和物服用1日前、インフルエンザ発症。 服用1日目、朝、体温39.2℃。昼、本剤初回吸入してから約20分後、突然走り出しソファに向かい、「何でお母さんがいるの?」等、理解不能な発語あり。本人に記憶はない。夕、ねぎをにぎりしめ、じーと見つめる行動あり。 服用2日目、朝、寝ていたが急に起床し、「ぼくが64円払って、お母さんが44円払ったんだからいいでしょ」、「ゲームを置いたんだから帰る」等の発言あり。サークルベッドから降りようとする行動があり、柵をよじ登ろうとしていた。		08/04/01以降新規報告
79	B-08027364	男性	12歳	20 mg	アセトアミノフェン	悪心 嘔吐 激越 幻覚 落ち着きのなさ	不明 回復 回復 記載なし 記載なし	ザナミビル水和物処方され、服用開始。朝、本剤初回吸入。昼食後、本剤吸入後、吐き気、嘔吐、興奮状態、幻覚があるようで、じっとしていられない状態となった。薬局に連絡したところ、服用をやめ医師に連絡・受診のうえ指示をあおぐよう諭す。 服用3日目、朝、1日で解熱、吐気の発現も1回のみ。本剤は同日まで継続服用したが、その後、副作用と思われる症状はなし。		08/04/01以降新規報告
80	B-08027685	男性	12歳	20 mg		幻覚 譫妄	回復 回復	38.6度の発熱にて受診。インフルエンザ陽性のため、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。昼、本剤1回目吸入。夕、本剤2回目吸入約2時間後、幻覚が発現。その後、就寝。2回目吸入約4時間後、深夜、睡眠時、突然大声で叫びだした。約1時間継続し、再度、就寝。翌日、起床時には普通の状態。本剤中止。		08/04/01以降新規報告

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No	個別番号	性別	年齢	一日用量	併用薬	副作用	経過	経過の概要	備考	備考
81	B-08027954	女性	12歳	20 mg	イブプロフェン	意識変容状態	回復	39.1°Cの発熱あり、受診。インフルエンザA型の診断にて、ザナミビル水和物処方され、服用開始。朝、夕、本剤吸入し、就寝。服用2日目、早朝、気分不良で起床。1分後、階段を降りようとして転落。転落後、記憶なし。脱力。転落直後、トイレに行き、顔面蒼白。嘔気があった。同日午前中には、解熱し、症状改善。その後も本剤継続(計10回服用)。		08/04/01以降新規報告
82	B-08028089	女性	12歳	20 mg	d-マレイン酸クロルフェニラミン 塩酸エブラジノン	痙攣 譫妄	回復 回復	体温38.6度。インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物等処方。服用2日目、夜、吸入約2時間後、体温37度。痙攣、うわごと発現。特に処置なく帰宅。		08/04/01以降新規報告
83	B-08028844	女性	12歳	20 mg		意識消失 異常行動 鼻出血	不明 不明 不明	1、2回目のザナミビル水和物吸入2時間後、意識消失、鼻出血あり。3回目の吸入2時間後、畳をたたく等の行為、暴れるといった行動が発現。熱は高熱であった。リン酸オセルタミビルでは問題なかった。		08/04/01以降新規報告
84	B-08025267	女性	13歳	20 mg	セラペプターゼ 塩酸アンブロキシール	衝動行為 激越 痙攣 構語障害	回復 回復 回復 回復	インフルエンザで、ザナミビル水和物投与開始。投与2時間後、覚醒し、興奮、発作出現。落ち着いてから、異常発語継続。	異常以外-27	
85	B-07020645	女性	13歳	20 mg	アセトアミノフェン	幻覚 自殺念慮	回復 回復	インフルエンザキットでA型陽性。ザナミビル水和物処方され、昼・夕、本剤10mg吸入。深夜、幻覚、自殺念慮出現。すべての物がゴミに見えた。母親もゴミに見え、自分も含み必要ないものと思え、死のうと考えた。明け方頃に回復、就寝。服薬2日目、昼頃、起床。幻覚出現し、約30分間症状は継続したのち回復。	異常以外-28	
86	B-08023847	女性	13歳	20 mg	ロキソプロフェンナトリウム ホスホマイシンカルシウム	失見当識 意識消失	回復 回復	39°C台の発熱あり、受診。インフルエンザA型陽性で中耳炎合併疑われ、ザナミビル水和物、ロキソプロフェンナトリウム、ホスホマイシンカルシウム処方。午後、夜、本剤吸入。服用2日目、朝、嘔吐、下痢発現1時間後、本剤吸入。嘔吐、下痢のため受診。体温40.5°C。受診中、意識消失発現。すぐ回復するも、見当識障害あり。脳波、血液検査、頭部MRIに異常なし。脳症は否定され、点滴処置のうえ、経過観察。体温38.7°C。見当識障害、次第に回復。服用開始から3日目、朝、体温36.9°C。意識は回復し、退院。		08/04/01以降新規報告
87	B-08026499	男性	13歳	20 mg		異常行動	回復	38度の発熱にて受診。インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。夜、本剤吸入後すぐ立ち上がって、運動しなければという妄想にかられて足をバタバタさせていた。服用2日目、夜、本剤吸入後、眼がうつろで、「どうしたんだ」と尋ねても、正常な応答ができなかった。急におきあがって、左足がふるえて、おさえていないとまらなかった。会話にもならず、何をやっているかわからない状態だった。		08/04/01以降新規報告
88	B-08028086	女性	13歳	20 mg	ヒベズ酸チペピジン 塩酸アンブロキシール 耐性乳酸菌製剤(3)	意識変容状態	回復	体温38度。翌日受診し、インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物吸入開始。服用3日目、解熱。本剤終了。服用終了3日後、学校へ登校後、倒れた。服用終了4日後、回復。		08/04/01以降新規報告

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	個別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	経過	経過の概要	前回来歴No.	備考
89	B-08028722	女性	13歳	20 mg		意識レベルの低下 無力症 蒼白	回復 回復 回復	38.1°Cの発熱あり、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。夕、本剤吸入約10分後、気分が悪くなり、脱力が発現。顔面蒼白、意識レベルの低下がみられた。「だいじょうぶですか?」と呼びかけても返事をせず、眼を閉じたままであった。吸入約15分後(事象発現5分後)、脈は約80/分であり、すぐに意識回復。吸入約25分後(事象発現15分後)、休んだところ顔面も良好な色となり、起立して歩くことができるようになった。		08/04/01以降 新規報告
90	B-08029858	女性	13歳	20 mg		記憶障害	軽快	受診日と同日より、ザナミビル水和物服用開始。午後、軽度の意識レベルの低下が発現。 服用2日目、午前中、軽度の意識レベルの低下が発現。夜、異常行動、記憶障害が発現。 服用3日目から4日目、午前中、午後、軽度の意識レベルの低下が発現。 服用5日目、本剤中止。		08/04/01以降 新規報告
91	B-08032017	不明	13歳	投与量不明	イブプロフェン カルボシステイン	異常行動	回復	詳細不明		08/04/01以降 新規報告
92	B-06026799	男性	14歳	10 mg	ヒベンズ酸チベピジン 麻黄附子細辛湯 クラリスロマイシン アセトアミノフェン 塩化デカリニウム	意識変容状態 幻覚	軽快 回復	インフルエンザBと診断され、ザナミビル水和物等服用開始。投与2日目の夜、幻覚出現。投与4日目の夜、玄関のドアの前にふら一つと立っていた。その後入眠、その30分後、突然目を覚まし、幻覚出現、取り付かれたようにバランスボールを手で5-6分ついてその後入眠。投与5日目、軽度意識障害あり、傾眠がちのことで入院。脳のCT、MRI、脳波、血液を行い、インフルエンザ急性脳症の疑いなし。	異常以外-29	
93	B-08024168	男性	14歳	20 mg		失神	回復	インフルエンザ陽性にてザナミビル水和物を処方。本剤1回目を吸入直後、5分程度失神し回復。薬剤との因果関係はないと判断し、継続して本剤を吸うように指示される。2回目吸入後は失神する事もなく、インフルエンザ回復。		08/04/01以降 新規報告
94	B-08027295	男性	14歳	投与量不明		意識変容状態 大発作痙攣	軽快 軽快	ザナミビル水和物服用4日目(解熱から2日目)、応答がおかしくなってきた20分程してから全般性強直間代発作が5分間起こり、経過観察入院。		08/04/01以降 新規報告
95	B-08027368	女性	14歳	投与量不明		痙攣	不明	インフルエンザのため、ザナミビル水和物処方され、同日より5日間服用。服用開始から6日目、熱が下がったので、登校するも、登校中に痙攣が発現し裂傷を負ったため、救急搬送された。今まで同様の症状の発現はない。		08/04/01以降 新規報告
96	B-06025365	女性	15歳	20 mg	鎮咳配合剤(1) カルボシステイン	痙攣	回復	A型インフルエンザと診断し、ザナミビル水和物投与。投与2日目使用後、意識消失し、間代性けいれんが1分間続いた。	異常以外-30	
97	B-08031778	男性	15歳	20 mg	セフトロピボキシル アセトアミノフェン	落ち着きのなさ	回復	ザナミビル水和物服用1日目、昼、体温38.5°C。本剤吸入。夕、本剤吸入約1時間後、じっとしていられない感じになる。症状は約1時間で消失。服用開始から2日目以降、上記のような症状はなし。発熱ないため、本剤服用せず。 服用開始から3日目、夕、体温37.7°Cと発熱を認め、本剤吸入。異常行動は発現せず。 服用開始から4日目、朝、再診し、本剤中止。		08/04/01以降 新規報告

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)
 (販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	個別番号	性別	年齢	一日用量	併用薬	副作用	経過	経過の概要	副作用No.	備考
98	B-07008920 (B00-13440)	男性	16歳	20mg	キョウニン水 オウヒエキス ヒベンズ酸チペピジン	激越	回復	インフルエンザと診断され、ザナミビル水和物投与開始。突然、感情が高ぶり、激越状態となる。家の中にいると何かを壊したくなり、外を歩き回っているうちに症状が治まった。	異常以外-31	
99	B-07008921 (B02-03791)	女性	16歳	20mg	アセトアミノフェン 塩酸エブラジノン ジオサマイシン	鎮静	回復	インフルエンザでザナミビル水和物投与3日目、頭がボーとする。脳CTにて異常なし。	異常以外-32	
100	B-08026811	男性	16歳	20 mg	クラリスロマイシン 塩酸エブラジノン カルボシステイン トラネキサム酸	幻覚	軽快	A型インフルエンザと診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。夕方、本剤吸入後すぐに幻覚発現。幻覚は約36時間継続。服用2日目、朝、夕、本剤吸入。服用3日目、医師より本剤中止の指示あり、同日より、本剤中止。		08/04/01以降 新規報告
101	B-08027678	男性	16歳	20 mg		幻覚	回復	受診時、体温38℃、鼻水、咳、咽頭痛あり。インフルエンザウイルス抗原精密測定でA型の反応あり、ザナミビル水和物処方。本剤吸入直後、幻覚発現し、個室に隔離し監視したところ、約30分で幻覚消失。30分過ぎより次第に平常に戻った。本剤中止。		08/04/01以降 新規報告
102	B-07008100 (B00-12745)	女性	17歳	5mg		意識消失	回復	症状よりインフルエンザと診断。1プリストア吸入後、容器を片付けている途中に、突然、ボタンと床に倒れ、10秒程度意識を失った状態。30分後の再診時、患者は虚脱、皮膚の冷感・蒼白、チアノーゼ、血圧低下が認められた。意識障害はなく回復した。	異常以外-33	
103	B-07026093	男性	17歳	投与量不明	非ピリン系感冒剤(4) ロキソプロフェンナトリウム 解熱鎮痛消炎剤	精神症状 精神症状	回復 不明	A型インフルエンザと診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。服用3日目、主に性的な内容のことを大声で叫ぶなどの精神症状発現。翌日より学校の修学旅行を控えていたため、近医内科にその可否を相談。本剤中止。服用開始から4日目(修学旅行当日)、未明より、旅行準備を始めるが、目がうつろで、明らかにいつもと異なることに気づいた母親が、修学旅行参加を断念させた。	異常以外-34	08/04/01以降 追加報告
104	B-08005354	男性	17歳	20 mg	非ピリン系感冒剤(4) セフジニル ベタメタゾン・d-マレイン酸クロ ルフェニラミン 非ピリン系感冒剤(4) ロキソプロフェンナトリウム プラノプロフェン	幻覚 妄想	軽快 軽快	ザナミビル水和物服用1日前、感冒症状発現。体温38℃台。非ピリン系感冒剤、セフジニル、ベタメタゾン・d-マレイン酸クロルフェニラミン服用にて解熱。翌日、キットにてインフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。本剤吸入。ボーっとして生気がなく、服用1日目は、38℃を越える発熱はないが、3日間反応鈍く、傾眠傾向。服用2日目、インフルエンザ改善により本剤終了。服用終了から3日目、朝から「エイリアンがいる」等の幻覚妄想状態発現。不眠。服用終了から16日目、髄液圧上昇以外は異常なし。服用終了から20日目、入院。服用終了から約3ヵ月目、精神神経科退院。		08/04/01以降 新規報告

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	別添付	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	経過	経過	備考	備考
105	B-08031463	男性	18歳	10 mg	アセトアミノフェン セラペプターゼ レバミピド 臭化水素酸デキストロメトルファン	不安 多幸気分 耳鳴 落ち着きのなさ	回復 回復 回復	発熱のため、受診。インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。夕、本剤吸入し、就寝。約1時間30分後、覚醒したが不安感が強く、意識が高ぶる、じっとしていられない、耳鳴が強い、ゆっくりと動作ができない等の症状が発現。自分でも怖いと思った。症状は約10分継続し、自然消失した。その後、本剤中止し、同症状の再発現なし。		08/04/01以降 新規報告
106	B-08025879	男性	19歳	10 mg		意識消失	軽快	昼頃、ザナミビル水和物を吸入した。約2時間半睡眠をとった後、数秒の意識消失が2回あり。救急車にて病院に搬送された。来院時は、意識清明であった。		08/04/01以降 新規報告
107	B-08031174	男性	19歳	40 mg	ロキソプロフェンナトリウム	意識消失	回復	ザナミビル水和物服用1日前、38.3℃発熱あるも、キットにてインフルエンザ陰性。翌日、キットにてインフルエンザB型の診断にて、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。服用2日目、体温38℃台。本剤吸入後、意識消失(約10秒)が発現。		08/04/01以降 新規報告
108	B-08026724	不明	10歳代	投与量不明	塩酸ソロブテロール d-マレイン酸クロルフェニラミン	幻覚 振戦	不明 不明	インフルエンザと診断され、ザナミビル水和物等処方。同日、服用開始。幻覚のような症状が見られた。腕が震えたりしているが、併用薬のうちの薬が原因かわからない。翌朝、体温は39℃から37.4℃まで下がった。		08/04/01以降 新規報告
109	B-07027359	男性	20歳	20 mg	麻黄湯 クラリスロマイシン カルボシステイン ピペラシリンナトリウム 乳酸リンゲル液	異常行動	回復	服薬1日目、キャピリアテストにて、インフルエンザA型ウイルス感染と診断。外来受診時に、明らかな神経学的異常所見は認められなかった。外来にて、ザナミビル水和物吸入し帰宅。服薬2日目、朝・夕吸入。夕食後、話しかけても返答なく、部屋の隅に壁を見つめてぼっとしていた。無反応な状態(呼びかけても声をださない)がしばらく続いた。副作用発現後の本剤の吸入なし。服薬中止1日後、異常行動は回復した。	異常以外-35	
110	B-07023803	男性	21歳	20 mg	リン酸コデイン カルボシステイン	異常行動	回復	服薬1日目、キットにてA型インフルエンザと診断し、ザナミビル水和物を処方。深夜、母親の部屋へ行き、ふわふわした感じと携帯電話を大きく感じ、気持ち悪くなるという症状を認めた。服薬2日目、異常行動回復。本剤中止。	異常以外-36	
111	B-08026966	女性	21歳	20 mg		意識変容状態 痙攣	軽快 軽快	インフルエンザと診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。夜、本剤吸入し、就寝。服用2日目、腹痛のために目覚め、トイレに行こうと歩いていると数秒間、手足が硬直し、ひきつけをおこす。その後、トイレに行き横になったところ、白目をむいて痙攣し、意識を数分失ったため、すぐに救急車搬送される。来院時には意識もはっきりしており、熱も下がっていたため、補液のみにて処置。補液後、特に問題見られず、医師の判断により帰宅。		08/04/01以降 新規報告
112	B-08028350	男性	21歳	20 mg	アセトアミノフェン	意識消失	回復	37.7℃の発熱あり、受診。インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。夕方、本剤吸入後、意識消失をきたし、救急車搬送。30~60分程意識がなく、家族があわてて救急車を呼んだとのこと。本剤による有害事象を疑い、以後、本剤中止。服用開始から4日目、再診時、普段と変わらない様子であった。		08/04/01以降 新規報告

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)
 (販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	識別番号	性別	年齢	一日用量	投与薬	副作用	経過	経過の概要	前回来院No.	備考
113	B-07008922 (B024073)	女性	23歳	20mg	臭化デキストロトルファン・クレゾールスルホン酸カリウム 塩酸アンブロキシソール	失神 全身性蕁麻疹	回復 回復	インフルエンザにて、ザナミビル水和物投与2日目、失神、蕁麻疹発現。	異常以外-37	
114	B-07010426 (B02-1506)	女性	23歳	20mg	塩酸セフカベンピボキシル 非ピリン系感冒剤 シメトリド・無水カフェイン 臭化水素酸デキストロトルファン ロルノキシカム ジクロフェナクナトリウム フェンジソ酸クロベラスチン	口内炎 感覚鈍麻 嘔吐	回復 回復 回復	服用開始日、嘔吐が出現。翌日、多発性口内炎、手指しびれ感が発現。	異常以外-38	
115	B-08027530	女性	27歳	20 mg	セフジニル クエン酸ペントキシベリン カルボシステイン アセトアミノフェン	感覚鈍麻 ショック 失神	回復 回復 回復	インフルエンザと診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。朝、本剤吸入後、四肢のしびれあり、臥床。しばらくして回復。夕方の吸入について問い合わせあり、来院して吸入するよう指示。夕方、再度来院し、本剤吸入。少ししびれあるが、朝より軽いとのこと。症状軽く、帰宅可能な指示した直後、パタンと音がし、トイレの近くで倒れていた。失神認め、脈触知せず、点滴処置を施行し、直後に回復。		08/04/01以降 新規報告
116	B-08027858	女性	27歳	投与量不明	臭化水素酸デキストロトルファン アセトアミノフェン	意識消失 頭痛 悪心 嘔吐	回復 不明 不明 不明	ザナミビル水和物服用1日前、36.7℃の発熱にて受診し、臭化水素酸デキストロトルファン、アセトアミノフェン処方。 翌日、37.4℃の発熱にて再診し、インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。本剤投与開始。 服用2日目、夜、本剤吸入約4時間後、意識消失発現(2、3分)。その後、頭痛、悪心、嘔吐発現。 服用3日目、症状は落ち着く。		08/04/01以降 新規報告
117	B-08028615	女性	29歳	20 mg	イブプロフェン 塩化リゾチーム フェンジソ酸クロベラスチン メキサジン	髄膜炎 脳炎 異常行動	軽快 軽快 不明	40℃を超える発熱あり、受診。インフルエンザの診断にてザナミビル水和物等処方。同日、服用開始。 服用2日目、夕より、見当識障害、下痢発現し、徐々に増悪したため、救急搬送され、入院。本剤中止。 発現日不明だが、異常行動の発現あり。 服用開始から8日目、症状が徐々に緩和。退院。		08/04/01以降 新規報告
118	B-07007933 (B01-01086)	女性	31歳	20mg	非ピリン系感冒剤 塩酸アンブロキシソール ポピドンヨード リン酸ペンプロベリン	低体温 浮動性めまい	回復 回復	インフルエンザと診断し、ザナミビル水和物投与。投与開始2日目夕方、体温下降(34.8℃)、悪寒、めまい出現。投与開始3日目、本剤吸入30分後位から体温下降するため、本剤中止。その後も35℃～35.3℃位で悪寒とめまいが持続。	異常以外-39	
119	B01-12850	女性	32歳	20mg	麻黄湯	失神	回復	投与開始日、失神発現。	異常以外-40	